

会 議 録

会議の名称	佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議（第1回）
開催日時	平成30年10月16日（火） 09時00分 開会 10時30分 閉会
場所	佐渡市役所 本庁3階 大会議室
議題	<p>会議次第</p> <p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 座長選出</p> <p>4 議題</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 新市建設計画の変更について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 意見交換</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) その他</p> <p>5 閉会</p>
会議の公開・非公開	公開
出席者	別紙出席者名簿のとおり 議事録：事務局 企画課
会議資料	<p>資料（当日配布）</p> <p> 次第</p> <p> 参加者名簿</p> <p> 佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議開催要綱</p> <p> 佐渡市将来ビジョン</p> <p> 佐渡市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン</p> <p> 佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略</p> <p> 佐渡市第3次集中改革プラン</p> <p> 新市建設計画</p> <p> 住民説明会資料（No.1、2、3）</p> <p> 住民説明会意見まとめ</p> <p> 新市建設計画変更スケジュール</p>

会議の概要（発言の要旨）	
発 言 者	議題・発言・結果等
（敬称略） 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・報道関係者へ、撮影は、冒頭の市長の挨拶のみについて伝える ・事前配布資料の確認
市長	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 市長あいさつ （あいさつ） 3 座長選出 （座長の選出について確認）
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 4 議題 （1）新市建設計画の変更について （「佐渡市将来ビジョン等策定・推進会議開催要綱」「新市建設計画」「佐渡市将来ビジョン」「市民説明会配布資料」「集中改革プラン」について配布資料をもとに説明）
座長	意見交換の前に質問を募集する。
委員	両津文化会館を廃止し、アミューズメント佐渡を一部改修して機能を増やすという説明だと思うが、具体的にどのような新しい機能が增えるか。
事務局	基本的には、アミューズメント佐渡を建ててから相当期間が経過しているので、現施設の補修が主となる。いじるとなると、建築基準法の関係もあり、天井を直す、古くなっている音響関連の更新、外壁や屋上の長寿命化を行う。機能追加については、両津文化会館の解体以後はアミューズメント佐渡しか（大人数を収容できる施設は）ないが、ある程度、300とかそういう程度であれば地元でやりたいという希望があり、佐渡島開発総合センターの3階ホールを一定程度改修して、支所に公民館ができるので、公民館と行き来できるようにする、舞台を広くする、ある程度防音する等の改修をして、中規模の催しにも対応できるようにしたい。
委員	両津文化会館にあった機能でアミューズメント佐渡になかったも

事務局	<p>のが、改修によってアミューズメント佐渡に補填されるわけではない？</p> <p>はい。お手元に市民説明会でいただいた「ご意見」を配布している。一番上に「アミューズメント佐渡の改修費用の内訳は？」という質問があった。回答として「大ホールの耐震対応のつり天井、小ホール全体、屋根、外壁、機械設備」ということで、予定している。</p>
委員	<p>わかりました。</p>
座長	<p>新しい機能はアミューズメント佐渡には追加しないが、音響が悪いなどの部分は修理修繕をしていく。両津の今までの建物はなくなるが、両津湊のセンターのところの3階、今までも椅子で座ると300名程度入れると思うが、3～400名程度であればそこで代用しますよ、ということです。</p>
委員	<p>両津病院の新しい資料ができて、きちんとされている。かつて佐渡再生、小菅徹也先生の検討の中で、あそこ（現在の両津病院の場所）は非常に津波についての大変心配な地区であるということで、かなり両津の方に浸透してきている。（新しい立地は）いい場所に作ったと思っている。（病床の数は）ほぼこの60床で確定ということか。病院の、新市建設の地域の説明会は終わっているが、これがもう確定したものと考えてよいか。</p>
事務局	<p>現在、実際に両津病院で稼働しているものが60床。この60床というのがひとつの単位の上限であり、1病棟に設置できる病床数が60床ということになっているので、これを目安としている。将来的には佐渡市の中で不足する部分も含めて65床、両津病院に用意してほしいという意見も前のいろんな会議ではあったが、60床というひとつの区切りを単位として、現在の計画としては60床を新しい病院に整備する方針。現在の稼働率でいくと9割くらいの患者さんが入っており、常にそのような形で60床あれば十分な対応ができると思う。</p>
座長	<p>今ある両津病院が高台の方へ移って行って、今ある両津文化会館と両津公民館のあたりを想定していると。そこで新しいものを建てますよと。（病床数は）60床を計画していますよと。位置的には両津の中心地にも近いし、津波からもなんとか守れるし、駐車場等も</p>

	<p>たくさん取れるし、そこがいいのではないかという計画で、およそ住民説明会のときも、場所とか位置的にはいいという話だったということか。</p>
事務局	<p>今度予定している高台については標高が22メートルほどあるので、通常の津波であれば全く影響しない。そういう説明もさせていただいた上で、そちらの方に移りたいという説明をしたところ、みなさんから安心だというご意見もいただいている。</p>
委員	<p>私たちも市民会館がなくなるということで困っているが、以前、20年前から比べるとイベントの人数が少なくなっている。300人、400人くらいだったら（開発総合センターに収容できるということなら）ありがたいと思っていた。今（開発総合センターの）3階を私たちは使っているが、そのスペースは変わらず控室を増やすのか、それともそのスペースを減らして控室を作ることか。</p>
事務局	<p>まだ完成していないが両津支所を作っている。1階がピロティ、下駄履き。2階が支所、3階が公民館、4階が図書館となる。3階は、先ほど話が出ている（開発総合センターの）3階ホールと同じ階になる。イベントをやるには控室とか、そういうものが要るということで、今ある舞台の横手を通して公民館と行き来ができる（ようにする）、ということで今進めている。舞台も少し狭いし広げたいというようなこともあり、GOサインが出ると、もう少し関係者と調整をしながら、どういうものにしていくかを調整していくということで動いている。</p>
委員	<p>例えばイス席にするか、それとも今までどおりゴザにするか、それも今後の計画か。</p>
事務局	<p>はい。どんな使い方、どういう設備というようなものについても一定程度決めきれていないので、利用者と相談して決めていきたい。</p>
座長	<p>両津以外の方は何の話と思われる方もいるかもしれないが、今両津支所の4階を立て直していて、その両津支所の3階に公民館が入る。佐渡島開発センターはすぐその横にあるので、廊下等で繋がると。そうすると佐渡島開発センターの3階には非常に広い空間があって舞台も付いているので、そこだと300人くらいの集会在、ギ</p>

	<p>ツチリつめれば400名まで行くか、ちょっと400名だときつい か、それくらいの集まりだったらやれますよという話でよろしいか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
委員	<p>支所、公民館、図書館、佐渡島開発総合センターが集中すること になるが、ときどき両津支所にお邪魔するときに、駐車場が狭いと いう印象がある。今回の工事にあたり駐車場はどのくらいの容量に なるか。</p>
事務局	<p>今詳しい資料がないが、1階のピロティに公用車等を（停める場 所があり）、裏のスペースに職員駐車場がある。公民館・図書館が入 るということで、当然今までよりもお客さんが車で来ることへの対 応が必要であり、例えば職員は別のところに停めるとか、佐渡汽船 の船の利用者も入ってくる可能性もあるので、今ゲートを付けて、 何時間まではスムーズに出られるということで、施設利用者、支所 と公民館を含めた利用者の駐車対策ということで、配慮をしている。</p>
座長	<p>佐渡汽船乗客による利用もあると思うが。</p>
事務局	<p>今まで閉庁日は裏の職員駐車場を開放していたが、公民館と一緒 になるということになると、土日も公民館利用があるため、今まで どおり佐渡汽船の利用者に対して休みの日に開放できるかどうかは 難しい。まずは施設利用者の利便性を確保する。</p>
座長	<p>開放しないということか。</p>
事務局	<p>今までも閉庁日には開放していたが、開庁日になってもそのまま （車が駐車場に）あるだとか、色々問題があったことは間違いない。 それから、今回支所だけならいいが公民館も入ってくるとなると、 施設利用者を優先するしかない。公民館が来たのに（駐車場が）使 えない、という話は難しい。</p>
座長	<p>止められなくなる可能性が高いという話。それでは他に質問がな ければ説明を続けてほしい。</p>
事務局	<p>スケジュールを説明します。</p>

事務局	<p>（「新市建設計画スケジュール（案）」に基づいて説明。10月16日「最終案完成」は誤りである旨、市民参画会議を11月上旬に再び開催する予定である旨を伝える）</p> <p>（2）意見交換</p>
委員	<p>今事務局の方でスケジュールの話があったが、12月議会に「新市建設計画」を出すということか。将来ビジョンも出す？</p>
事務局	<p>新市建設計画の「変更案」ということで、今まで15年だった計画期間を20年に延ばすという部分と、延ばした5年間についての財政計画を、合併特例債を受けるためには変更しなければならない。この部分の変更について議会の議決をいただかなければならない。</p>
委員	<p>合特債が5年延長になったので、それに対してこうやるんですよということを議会に説明するという事なんですね。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。</p>
委員	<p>計画案そのものを見直すというわけではない？将来ビジョンもまだということ？</p>
事務局	<p>形式的な要件として、計画の期間と財政計画については必須要件であり、合併前に作った計画を、法律上直さなければならず、形としては議会の議決が要ということ。</p>
座長	<p>合特債の期間が5年間延びたので、佐渡市の計画も変更しますよと。しないとだめだということですね。そうすると、5年間合併特例債を使えるが、先ほど部長がおっしゃった（資料 No.2 の）1番から15番というのがある、1番は病院なので除くとして、2番から15番が、5年間延びた合併特例債を活用する事業の全てか。他にも何かあるか。</p>
事務局	<p>最上位計画である「将来ビジョン」を直すのが通常であるが、法律上「新市建設計画」に記載されている必要があるため、期間の延長と財政計画について変更する。中身は色々あるが、ものを建てる部分の他に、佐渡市の進むべき方向みたいなものも書いてあり、今ある将来ビジョンと同じ、合併前に作ったビジョンなので、合併特</p>

座長	<p>例債の期間を延長するためにはこれを直すことが必要。</p> <p>この後まだ5年間使える合併特例債があるわけだが、それは色々なことに使うか。先ほど言った建物の新築や解体でお金が終わってしまうか。</p>
事務局	<p>資料 No.1 の3ページで示したとおり。使えるお金が420億、平成30年度まで385億使ってきた。残りはまだあるが、あと5年間で、先ほど見ていただいた事業で32億。これを足すと、417億。残りが3億くらいあるが、一定程度残している。今回変更にあたっては期間の変更と財政計画だけだが、県との協議にあたっては何をやるかという話を実際に事務方でしている。それについては新市建設計画の中で読み込めなければならない。今のところは先ほど説明した統廃合に伴うもの（事業）に32億円充てて、それでいいところ。</p>
座長	<p>5年延長した分はここにあるような建物の解体に使い、残が3億くらいあるということ。</p>
事務局	<p>繰り返しになるが、今まで解体だけに使ってきたわけではない。船舶建造や佐渡総合病院、総合体育館、小中学校体育館の整備、支所や行政サービスセンターにも使っている。整備の一方で、残ったものをどうするかということが非常に大きな問題。島内にはそのまま残っているものも多くある。市としても次の世代にそういった負の遺産を残すということは忍びないので、ぜひこういうものを使って計画的に要らないものを取り壊していくということ。</p>
座長	<p>今まで全部そうやってやった（解体した）のではないという話。今までもっとこの有意義な前向きなものに使ってきていて、今5年間延びたところで建物等をたくさん残したところに合併特例債を使わないとすると100%佐渡市の予算でその潰すのには使わなければならないので、この5年間延びたところでじゃあ解体できるところは合併特例債を使えばいいなということで解体していくと。</p>
委員	<p>3つほど。両津病院が、津波対策で高台に移転したというのは正解だと思うが、反面、箱モノはできたけど使い勝手が悪い、高齢者が杖をついて坂道を上がっていくことに耐えられるか、健康でなければ病院も行かないくらいだが、ローカルバスを乗り入れるとか、</p>

事務局	<p>手すりを設置するとか、歩道を整備するとか、その辺も含めて考えていってほしい。2つ目は合併特例債の使い道について、主に施設（整備）になっているが市民活動に使えないか。それから、川茂小学校もときどき市民が使っているが、やはり使わなくなったものの利用も考えていく必要があると思うが、どうか。</p> <p>確かに坂道の上に建つ計画となっている。現状でも高齢の方の比率が高い。見ていると患者のほとんどが自家用車による送迎や福祉タクシーを利用しているが、そうは言っても何らかの形で利便性を確保しなければいけないということは重々承知している。現在の文化会館のところ上がった場合は、現状でも、路線バスが中等教育学校とか、その関係の朝夕の便がある。その辺の拡充については、新潟交通佐渡や庁内の交通政策課と協議して、より一層の利便性を図ることを計画している。それから実際坂道を上る際の手すりについても、当然（徒歩で）来られる方が想定されるので、十分に考えていきたい。現在の両津病院に駐車場が40台分しかないが、今度の新しい病院の計画では最低でも患者・付き添いの方含めて100台は確保できると思っており、現状で駐車場が狭いために（車での来院を）躊躇している人に対しても、拡幅により利便性が高まると考えている。</p>
座長	<p>合併特例債の市民活動等への利用についてはどうか。</p>
事務局	<p>資料 No.1 の2ページに対象事業の記載がある。（記載内容について説明）うち「一体性の速やかな確立」については病院整備支援、船舶建造助成、陸上競技場の整備、「均衡ある発展」については学校給食センター、支所等の整備、小中学校の体育館整備、消防関係庁舎の整備、「統合整備事業」については小学校や保育園、し尿処理施設、火葬場の統合に活用している。ソフト的な分野に関しては、合併特例債を基金に積めるという部分があり、地域振興基金に30億ほど積んでいるので、その部分についてはソフト的な部分にも活用できる。</p>
委員	<p>将来ビジョン等策定・推進会議については、来年度で将来ビジョンと人口ビジョン、その他が平成31年度までであり、それらを立てなければならないという部分と、スケジュール的に31年度のいつまでに策定しなければならないのか、それまでに会議を何回開くのかというのを教えていただきたい。</p>

事務局	<p>この会議については、今ご意見をいただいている新市建設計画と、佐渡市の将来ビジョン等の策定にもご意見をいただきたいと思っている。「佐渡市将来ビジョン」、地方創生に関する計画として策定している「佐渡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」こちらの計画期間も来年度で切れるということで、こちらの会議でご意見をいただきながら計画策定を進めていきたい。31年度までの計画期間であるが、予算編成等の都合もあるので、平成31年の12月頃までには策定をしたいと考えている。それについてはまたこの会議を開催し、ご意見をいただきたいと考えている。</p>
委員	<p>資料1の合併特例債活用事業について説明があるが、議会への説明などもあると思うが、最低でも資料2の計画についてはどんなことがあっても成し遂げてほしい。合併特例債は確かに有利な事業であるが、実際には借金として30%が残り、例えば430億使っても30数億借金として残り10年で毎年3億ずつ返さなければならぬ。夢のように天から降ってくる金ではない。佐渡市の今年度の予算を見ると基金の取り崩しを前からしており、30億、その前は37億、それをもって歳入に充てている。どういうことかということ、188億くらい残っていると思うが、それが底をついてきたら、孫・子の代になったら佐渡市の市民サービスができなくなることが非常に多くなっていくという非常に厳しい状況。そういうことをきちっと議会に説明して議会に求めてほしいし、単に合併特例債があるから夢のようなことがどんどんできる、あちこちに施設設備を残したい、建てたいというような状況ではないということもきちっと理解させてほしい。この前NHKでも新潟市の関係で特集でテレビ放送があったが、基金まで取り崩すという状況に今なっているということ踏まえて、きちんとした将来ビジョンを、その前提に立って立てていかないと、何でもかんでもあちこちに建物を建てるといことになると、破綻するということだけは、ぜひ十分に説明していただきたい。</p>
座長	<p>要するにただじゃないということで、30%は残っていくということなので、基金を取り崩していくとなくなってくるので、よく議会へも説明してほしいと。</p>
事務局	<p>皆様がたにこれからご意見をいただく将来ビジョンについても、現計画では「財政計画」「行政改革」「経済活性化」ということにな</p>

委員	<p>っているが、この後作る将来ビジョンにおいても「財政計画」「行政改革」という分野は大きな柱ということで、参りたいと思うので、皆様方からもご意見をいただきたい。</p> <p>先ほどの、財政についての中で、全部あちこちばらまいてというようなことについてはまったく同感。ただ「はもちふるさと自治会」という地域審議会ができるころにもう既に出来ていた何でも屋なのだが、今回初めて参加させてもらって、南部をまとめる小木・赤泊・羽茂の代表のつもりできたわけであるが、今言ったようにあっちこっち細かいことばらばらということではなくて、先ほど他の委員が言われたわけだが、この将来ビジョンの中で、ここに関することも協議する場があるか。大きいものだけでなく、地域の生活の、これの策定ですね。この内容等について。地域に非常に深く入った内容が示されているわけだが。そこで、この委員が集まって協議するような、あるいは地元から要望を持ち上げて協議するような場というのがあるものなのか。ちょっと（地域住民に）話したところ、船の話、小木・赤泊は港を持つので、あの船で修学旅行が船酔いしたりして来なくなっていると。船の話をもっと大きく言ってほしいと言われてきている。今日はそういう場でないようなので、いいわけだが、もう少し踏み込んだ地域のことを協議する場というのがあるのか。</p>
事務局	<p>大勢のメンバーに集まっていたらご意見をいただくわけなので、一定程度市の考えがまとまった時点で、皆さんご意見を反映できるような適当な時期に、このような会を開きたい。できたものを見せて「これでどうですか」という形ではこの会議の意味もないので、細部についてまた皆さんのご意見をいただきながら決めていく。</p>
委員	<p>佐渡は子どもを連れて遊びに行ける場所がないが、スキー場が開かれて、毎週こんなに人がいるのかというくらい、羽茂地区、南部地区からも行っている。子どもを連れて行く場所というのがやっと佐渡にひとつできたという評価を我々周辺ではしている。中央部でいいので、もっと子どもを連れて行って一定時間楽しませて楽しめるような場所が必要ではないかと思う。</p>
事務局	<p>思われるところを、色々な意見を寄せていただきたい。そういうスタンスで臨みたい。</p>

座長 事務局	5 閉会 (まとめと閉会) (事務連絡)
その他	傍聴者：2名